

授業科目 基礎健康科学研究特論		科目概要・形式 2 単位 30 時間	配当年次 1年 前期			
科目責任者	神成一哉					
担当者	井澤 弘美, 岩月 宏泰, 尾崎 勇, 神成 一哉, 今 淳, 佐藤 秀一, 佐藤 伸					
1. 科目のねらい・目標						
<p>研究は、基本的には研究者がこれまで培ってきた知識と研究手法に基づいて発展させていくものであるが、異種領域の研究手法や発想を取り入れることがブレイクスルーとなり、当該研究の発展につながることが往々にしてある。</p> <p>本講座では、基礎健康科学領域の研究に実際に取り組んでいる各講師が、現在の研究に至った経緯や研究成果を提示するとともに、それぞれの専門領域における最新の研究事情を紹介する。受講者には、各講師の発想や研究姿勢を学び、自身の研究の発展に役立つ何かをみつけてもらいたい。</p>						
2. 授業計画・内容						
1	テーマ 神経科学研究の階層性	担当 神成				
2	神経科学と臨床医学	担当 神成				
3	神経薬理学	担当 神成				
4	呼吸にともなう脳内情報処理の変化1 体性感覚情報処理の変化	担当 尾崎				
5	呼吸にともなう脳内情報処理の変化2. 運動指令の変化	担当 尾崎				
6	運動による呼吸循環応答	担当 岩月				
7	運動学習理論に基づいた運動指導	担当 岩月				
8	リハビリテーションと生体力学1 身体運動の観察・分析・解析	担当 佐藤秀				
9	リハビリテーションと生体力学2 ヒューマンケア・ロボティクス・エンターテイメントへの応用	担当 佐藤秀				
10	エピジェネティクスと遺伝子発現	担当 今				
11	エピジェネティクスと生命現象、疾患、アンチエイジング	担当 今				
12	肥満や糖尿病の発症や進展に関わるタンパク質の生理調節機能と食成分の関わり	担当 佐藤伸				
13	妊娠期や授乳期の低栄養環境を起因とする肥満や糖尿病の発症について	担当 佐藤伸				
14	ライフサイエンスとしての動物実験の必要性と倫理的側面を学ぶ	担当 井澤				
15	食品の安全を確保するためのリスク分析手法を学ぶ	担当 井澤				
3. 教科書、参考書						
特になし						
4. 成績評価方法						
講義への参加態度とレポートにより評価する。						
5. 受講要件						
なし						
6. 社会人学生に対する配慮						
夏季集中講義で行う予定である。						
7. その他						
なし						